

# 86歳バンドマン 再起の姿 映像に

【大分】大分市一木の日本文理大工学部情報メディア学科の学生が、86歳のハワイアンバンドリーダー安部宣彦さん（同市城崎町）にスポットを当て、ドキュメンタリーの動画撮影を始めた。妻を亡くした悲しみから立ち直ろうと、約60年ぶりに演奏活動を再開した人生に感銘を受けたという。

情報メディア学科は授業の一環として、3年生を中心とし、グループに分かれ、人生を感じさせるドキュメンタリーの動画（約15分）制作に取り組んでいる。岩下千里さん（20）＝3年＝らは、人は報道で安部さんのこととを知り、「ドラマのある人生。いろいろな経験を聞きたい」と題材に選んだ。安部さんは福岡市出身。大学時代にハワイアンの音楽活動に熱中した。保険会社を退職した後、65歳で大分市に移住。2016年に妻をなくし、喪失感から1年間引きこもった。地域住民の励ましで、18年からギター＆キーボーのリーダーとして活動を始めた。現在はボランティアで高齢者のサロンや音楽祭で演奏している。

20日に同市の中島中央公民館

## 「ドラマある人生」描く

岩下さんらは5回の撮影を予定しており、編集作業の後、8月上旬に大学で発表する。同学科の小島康史教授（60）は「試練を乗り越え、今的人生を語歌する姿を描くことで、人間の素晴らしさを表現できそう」と話す。安部さんは「私を選んでくれて驚いた。皆さんが励みになると言つてくれるので頑張っている。撮影は少し恥ずかしい」とほにかんだ。（坂本陽子）

### 文理大の学生、妻亡くした安部さん題材



（上）ハワイアンギターを演奏する安部宣彦さん（左）安部宣彦さんを撮影する日本文理大の岩下千里さん（右）＝大分市の中島中央公民館